

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	10	ご家族へのアンケート結果より、事業所のサービスを利用する事で、ご本人の生き生きとした表情や姿が見られるようになりましたか？の質問に3家族の方から、出来ていないとの評価があった。	私達職員が利用者へ介護サービスを行う事で、生きがいを感じ、『あさくらに来て良かった』と満足して頂けるユニットの構築。	・利用者と普段の会話から、要望を聞きだしユニット職員全員で取り組む事が出来るよう、ケアプランに反映、実践し、ケア状況を写真に収め、月1度送付する近況報告と一緒に郵送する。 ・主任・管理者だけでなく、職員からもご家族に話しかけ要望を聞き、ご家族が話しやすい環境を提供する。	12ヶ月
2	2	開設して、1年しか経過しておらず、地域交流が不十分である。	有事の際、近隣の住民の方達に避難誘導等、協力して頂ける良好な関係づくり。	・職員は地域の方達に礼儀正しい挨拶を行い、利用者と散歩に出掛けた時には日常会話を持ち交流する。 ・防災訓練・ケアビレッジあさくら納涼祭などのイベントに地域の方へ積極的に呼びかけを行う。	12ヶ月
3	4	運営推進会議を活かした取り組みについて、会議の意見交換の内容が議事録に記載されていない。	運営推進会議で頂いた意見を、ユニットで共有し実践に繋げる。	・運営推進会議の後、ミーティング、職員会等で管理者から職員に要望や指摘事項を議事録を以って伝達し、改善についてみんなで検討する。	12ヶ月
4	6	全職員が身体拘束をしないケアの基礎となる「指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」への理解が浸透していない。	身体拘束の意味を理解し当グループホームは身体拘束を廃止する。	・外部研修に参加し視野を広める。 ・外部研修で学んだ知識を内部研修に活かす。 ・月1回開催して身体拘束防止委員会で自身のケアの振り返りや知識の向上に繋げる。	12ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。